

## 【参考資料】

事務連絡  
令和6年12月25日

日本病院団体協議会 御中

厚生労働省

医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室  
保険局医療課

救急時医療情報閲覧の運用開始及び診療報酬上の施設基準について（周知）

厚生労働行政の推進につきまして、日ごろより格段の御協力を賜り、御礼申し上げます。

令和6年12月9日より、患者の生命、身体保護のために必要な場合、マイナ保険証による本人確認を行うことによって、患者の同意取得が困難な場合でも、レセプト情報に基づく医療情報等が閲覧可能となる救急時医療情報閲覧機能の運用が開始されました。

また、令和6年度診療報酬改定において、救急時医療情報閲覧機能を有していることが、総合入院体制加算1～3、急性期充実体制加算1・2及び救命救急入院料1～4の施設基準の一つとなり、令和7年4月1日以降に適用となっています。

既に当該加算及び入院料を算定している医療機関につきましては、引き続き算定する場合には令和7年3月31日までに救急時医療情報閲覧機能を導入いただけますようお願いいたします。なお、救急時医療情報閲覧機能を期限までに導入しない場合は、施設基準を満たせず、医療機関の収益が大幅に減少することが見込まれますのでご注意ください。

つきましては、貴会においては、内容を御了知の上、貴会会員等に対して周知等をお願いいたします。また、システム事業者との調整を踏まえ、令和7年3月31日までの導入が難しい等の課題（二要素認証の導入等）が発生している場合は、下記連絡先まで状況をお知らせいただきますよう、合わせて周知等をお願いいたします。

(参考)

- ・救急時医療情報閲覧機能概要案内

<https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/001243478.pdf>

- ・令和 6 年度診療報酬改定 個別改定項目について (P136、137)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001220531.pdf>

- ・「疑義解釈資料の送付について (その 17)」(令和 6 年 12 月 18 日事務連絡)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001358824.pdf>

- ・導入に向けた課題等の連絡先厚生労働省

医政局 特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室

e-mail : [iryoushouhousitsu@mhlw.go.jp](mailto:iryoushouhousitsu@mhlw.go.jp)

令和6年12月スタート

# 救急時医療情報閲覧 概要案内

【病院の方々へ】

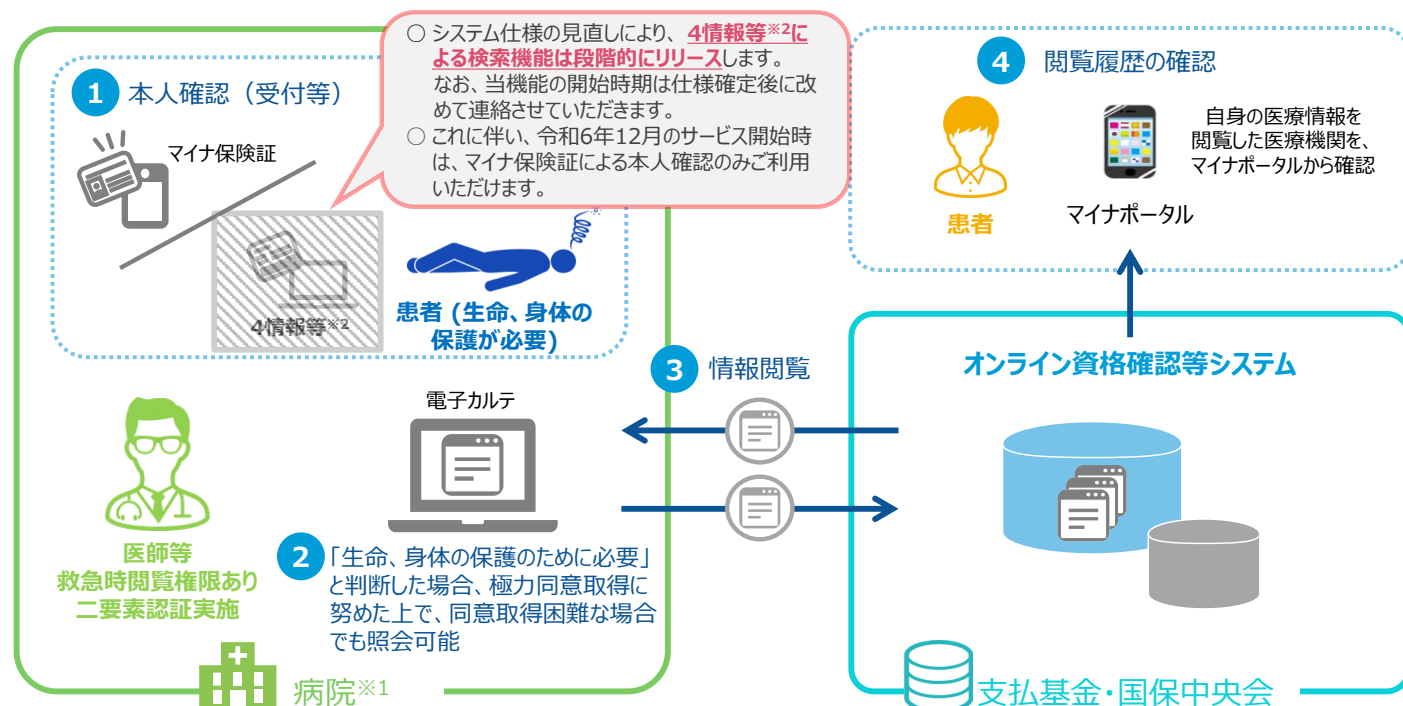
令和6年9月  
厚生労働省医政局

## 改訂履歴

版数	改訂年月	該当箇所	主な改訂内容
1.0	令和5年11月	全体	初版作成
1.1	令和6年2月	「2.閲覧できる情報」	・ オンライン資格確認等システムで管理する情報の保存期間見直しに伴う救急用サマリー、通常表示における期間の更新
		「4.救急時医療情報閲覧機能活用のメリット」	・ 救急時医療情報閲覧機能の活用に係るメリット周知ページの新規追加
		「5.診療報酬加算の要件について」	・ 医療DXの推進による医療情報の有効活用推進を目的とした、診療報酬加算の要件見直しに係る周知ページの新規追加
		「7. Q&A」	・ 診療報酬加算の要件追加による回答の更新
		全体	・ 周知ページ追加によるスライド項番の更新
1.2	令和6年9月	表紙	・ 一部機能の仕様変更によりシステムの追加開発が必要となったため、提供開始時期を令和6年12月に変更。
		「1.救急時医療情報閲覧について」「3.病院でできるようになること」「4.救急時医療情報閲覧機能活用のメリット」	・ 追加開発にあたり仕様・設計の見直しを行うため、提供開始時点では、マイナ保険証を使った閲覧機能からリリースを行う。これに伴い、4情報等による検索機能の表記をグレーアウト。
		「5.診療報酬加算の要件について」	・ 令和6年度診療報酬改定の概要、照会先のURLに差し替え
		「6. 利用開始に向けたスケジュール」	・ 一部機能の仕様変更によりシステムの追加開発が必要となったため、提供開始時期を令和6年12月に変更。これに伴いスケジュール表も更新。
		「7. Q&A」	・ 医療機関向け総合ポータルサイトの救急時医療情報閲覧FAQに合わせて回答を更新 ・ 救急時医療情報閲覧機能とマイナ救急との違いを追加
		全体	文言の統一 ・ マイナンバーカード⇒マイナ保険証 ・ 資格確認書等情報⇒被保険者番号等情報 ・ 検索/患者特定⇒本人確認

# 1. 救急時医療情報閲覧について

救急時医療情報閲覧機能により、病院においては※1、**患者の生命、身体保護のために必要な場合、マイナ保険証による本人確認を行うことによって、患者の同意取得が困難な場合でも、レセプト情報に基づく医療情報等が閲覧**できるようになります。

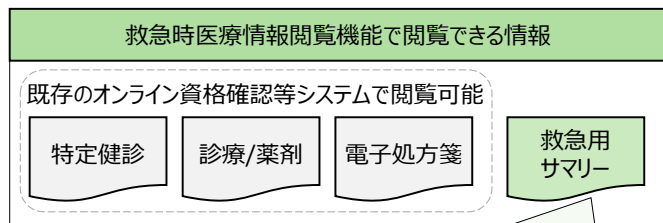


※1 救急時医療情報閲覧機能は、「患者の生命、身体保護のために必要がある場合」を対象とした仕組みであるため、主に救急患者を受け入れる一次救急～三次救急告示病院および病院を対象とした機能です。病院以外の医療機関等（診療所・薬局）には開放を想定しない機能となります。

※2 4情報等：①氏名 ②生年月日 ③性別 ④住所 または 保険者名称（被保険者番号等情報による本人確認も可能）

## 2. 閲覧できる情報

救急時医療情報閲覧機能では、現行のオンライン資格確認等システムで通常表示可能な診療／薬剤情報に加え、患者の基本情報・医療情報等が集約された**救急用サマリー**の閲覧が可能です。



### 救急用サマリーの項目・期間

項目	期間	参考：通常表示における期間
受診歴	3か月	5年
電子処方箋情報（※1）	45日	100日
薬剤情報（※2）	3か月	5年
手術情報	5年	5年
診療情報（※2）	3か月	5年
透析情報	3か月	5年
健診情報（※2）	健診実施日を表示	5年

※1：電子処方箋情報については、既に電子処方箋管理サービスを導入済みの医療機関等で登録された情報が閲覧可能。（救急用サマリーでは電子処方箋管理サービスに登録された情報のうち調剤情報のみ閲覧可能）

※2：薬剤情報については令和3年9月診療分のレセプト（医科・歯科・調剤・DPC）から抽出した情報、診療情報については令和4年6月以降に提出されたレセプト（医科・歯科・調剤・DPC）から抽出した情報、特定健診情報については令和2年度以降に実施し順次登録された情報が閲覧可能。

### 救急用サマリーの表示イメージ（PDF）

救急用 診療／薬剤情報一覧 作成日：2022年8月26日 1 / 1ページ

氏名カナ シンガキ 知子 保険者番号 12345678  
氏名 診療 太郎 被保険者証等記号 1234567  
生年月日 1962年5月21日 性別 男 年齢 60歳 被保険者証等番号 12345  
検査番号 00

この診療／薬剤情報一覧は、以下期間の診療行為及び医薬品情報を表示しています。但し、一部は表示されない場合があります。  
（補完療法や包括的な場合など、診療行為・医薬品が表示されない場合があります）

受診歴 ※直近3か月分（XXXX年X月～XXXX年X月）までの記録を表示

医療機関名	受診日
資格クリニック	22年7月
資格病院	22年6月

調剤結果情報 ※直近45日分（XXXX年X月～XXXX年X月）までの記録を表示

調剤	処方使用	医薬品名*4 (成分名)*4	調剤数量
年月 日	*1	【用法】 *2 / *3 回数 *4 / 【用法等の特別指示】 *5	
22年8月 2日	テスト薬局（テスト病院）		
院外 外用 1	フルチアフォーム125エアゾール60吸入用 （フルチカゾンプロピオン酸エステル・ホルモテロールフル酸塩水和物） 【1日2回朝夕食後 服用】	42吸入 1処方分	

レセプトに基づく薬剤実績 ※直近3か月分（XXXX年X月～XXXX年X月）までの記録を表示

調剤	処方使用	医薬品名 (成分名)	調剤数量*3
年月 日	*1	【用法】 *2 / *3 回数 *4 / 【用法等の特別指示】 *5	
22年7月 19日	資格クリニック		
院内 外用 1	ゲンタマイシン硫酸塩錠0.1%「イウキ」 1mg （ゲンタマイシン硫酸塩）	10g 1処方分	
22年6月 18日	オンライン薬局（資格病院）		
院外 内服 1	肉「マイスリー」錠5mg （ソルピデム酒石酸塩） 【1日1回就寝前服用】	1錠 14日分	

--- 次頁へ続く ---

【注意事項】  
\*1 医薬品の場合、入剤/外用/院内で分類し、「外用」とは入院及び院外（薬局）以外で調剤された医薬品を指します。  
また、診療行為の場合、入院/外用で分類しています。  
\*2 抽出元が調剤レセプトの場合に示しています。  
\*3 調剤時の使用法（回数、回数、回数等）と一致しない場合があります。

救急用  
※データ表示  
期間を限定

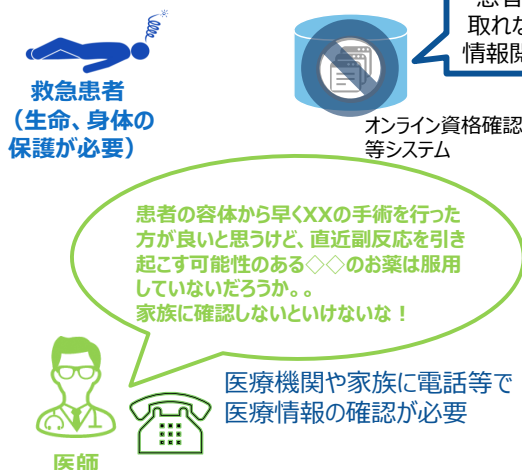
### 3. 病院でできるようになること

救急時において、意識障害等の同意取得困難な患者に対しても、薬剤情報や手術情報等のレセプトに基づく医療情報を閲覧し、迅速かつ適切な検査・治療等に活用できるようになります。

#### 疾患の推測とそれに伴う治療方針の検討の迅速化

！意識障害等の患者についても医療情報を閲覧できることで、**救急時における疾患の推測とそれに伴う治療方針の検討の迅速化**が可能になります。

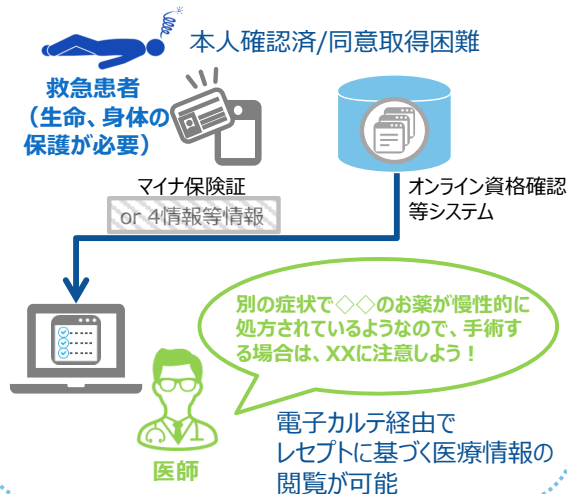
#### これまで 救急時医療情報閲覧機能の導入前



#### 薬剤情報や手術情報を踏まえた適切な治療

！救急時において、意識障害等で同意取得困難な患者についても、薬剤情報や手術情報などの**医療情報を踏まえた適切な検査および治療**に活用いただけます。

#### これから 救急時医療情報閲覧機能の導入後



4

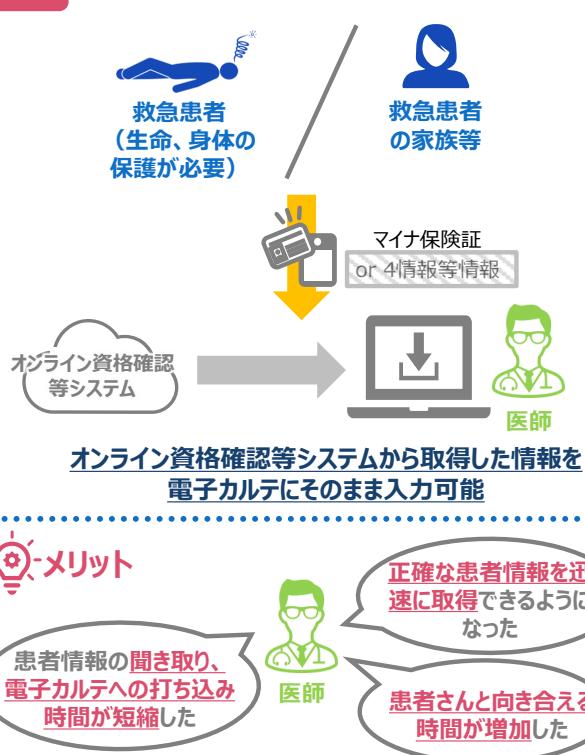
### 4. 救急時医療情報閲覧機能活用のメリット（1/2）

救急時医療情報閲覧機能によって、**患者の服用薬等の複数回にわたる口頭伝達が軽減可能**です。さらに、電子カルテへの入力作業が効率化され、**業務負荷軽減および医療の質向上**につながります。

#### これまで 救急時医療情報閲覧機能の導入前



#### これから 救急時医療情報閲覧機能の導入後



5

## 4. 救急時医療情報閲覧機能活用のメリット（2/2）

救急時医療情報閲覧機能では患者の直近の受診歴も確認可能なことから、**転院搬送やかかりつけ医と連携を取る場合等に、双方の医療機関にとってより迅速な意思決定・情報伝達が可能**と考えられます。



6

## 5. 診療報酬加算の要件見直しについて

令和6年度診療報酬改定では、**救急時医療情報閲覧機能の導入により、救急患者に対する迅速かつ的確で効率的な治療を更に推進する観点から、総合入院体制加算、急性期充実体制加算及び救命救急入院料について要件が見直されています。**

### 改定の概要

- 個別改定項目について（P136-137）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001220531.pdf>

### 照会先

- 診療報酬に関する照会先  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001219112.pdf>

7





## 7. Q&A

### 救急時医療情報閲覧の利用開始に向けて

#### Question

#### Answer

同意取得困難な場合、患者の同意無しで医療情報を見て本当に大丈夫ですか？

A. 「患者の生命、身体 の保護のために必要」と判断された場合は、個人情報保護法に基づき、患者の同意なしで医療情報を閲覧することができます。  
なお、患者本人は自身の医療情報を閲覧した病院の履歴について、マイナポータルから確認可能です。

全ての医療機関において、救急時医療情報閲覧を導入しなければいけませんか？

A. 救急時医療情報閲覧機能の導入対象医療機関は全国の病院です。救急時に医療情報を閲覧できることにより、生命、身体 の保護が必要な患者に対する、より質の高い医療の提供が可能になります。特に二次・三次救急病院の皆様におかれましては早期導入の検討をお願いします。

救急時医療情報閲覧機能の利用を開始するためには、まず何をすればよいですか？

A. 利用にあたり、オンライン資格確認を導入している必要があるため、導入していない方は、お早めに準備をお願いします。  
詳細につきましては、「救急時医療情報閲覧機能導入に向けた準備作業の手引き」([URL](#))をご参照ください。  
なお、導入費用につきましては、電子カルテシステムやシステム契約条件等によって異なりますので、ご契約の電子カルテシステムベンダ様にお問合せください。

10

## 7. Q&A

### 救急時医療情報閲覧の利用開始に向けて

#### Question

#### Answer

救急時医療情報閲覧機能導入にはどのくらいの費用がかかりますか？

A. 電子カルテシステムやシステム契約条件等によって異なりますので、ご契約の電子カルテシステムベンダ様にお問合せください。  
※ 当機能導入に対する補助金の予定はございません。

救急車で患者が運ばれてきた場合、カードリーダーでのマイナ保険証の読み取りは必須ですか？

A. マイナ保険証の券面に掲載された顔写真で本人確認ができる場合、乳幼児又は成年被後見人の法定代理人が代わって暗証番号を入力することができる場合は、マイナ保険証による本人確認をご検討ください。令和6年12月の提供開始時点では、マイナ保険証による本人確認での閲覧機能からリリースとなりますが、4情報、被保険者番号等情報による本人確認での閲覧機能も段階的にリリース予定です。リリース時期および設計変更に伴う技術仕様の変更は改めてご連絡いたします。

救急時医療情報閲覧機能とマイナ救急の違いは何ですか？

A. 救急時医療情報閲覧機能は、病院の医療従事者等が、病院において救急医療時に患者の医療等情報を確認する機能のことです。  
マイナ救急は、救急隊が、救急活動中に傷病者の医療等情報を確認する取組みのことです。

11